2009/7/1

応用力学運営委員会
力学的感性と教育　小委員会
第10回議事録（案）

（自然形態の建築構造への応用　WG　第2回）

記録　山田

A. 日　時　2009年 7月1日（水）　17：00～19:45

B. 場　所　建築会館202室

C. 出席者：新宮清志，山田耕司，朝山秀一，佐藤淳，堤和敏，小嶋英治，森　洋一（以上，7名）

D. 提出資料

・資料 09－04：力学的感性と教育小委員会　第９回議事録（案）（山田）
・資料 09－05：自然形態の建築構造への応用　WG 第２回（2009 年度第１回）議事録
・資料 09－06：構造デザインの潮流（佐藤）

E. 審議及び報告事項

１）前回議事録確認（山田）

了承された。

２）資料 09－06 の説明が行なわれた（佐藤）

同様な記事が 80 年代には建築文化に合った

３）出版について

・「ターゲット」と「訴えたいこと」を明確にする
・「力の流れを見えない」適判者も対象
・本の目的に沿った執筆者を選定することが大切
・「力学的感性」をキーワードにまとめたらどうか

M図から考える力学と形態（応力図，変形図で説明・解釈する形態）

「感性」とは，「目で見える」こと？

・主旨・キーワードを掲げて，何がかけますかと各委員にヒアリング

その後，目次案を作成

KEYWORD：建築形態，構造デザイン，力学的感性，教育，目で見て分かる，
自然，自然に学ぶ，感覚を養う書き方

主旨：構造デザインの持つ力学的感性を誰もが持てるように，その考え方を事例を通して解説する．また，力学的センスもしくは形態と力学に関する新たな知見を羅列する．本書により，構造に作用するち殻を感じられるようになってほしい．

回答方法：使用するキーワード（追加も可），内容とストーリー，〆切7/25

F. その他

・次回委員会：8/10 13:30～に行う．WGも合同（？）

以上